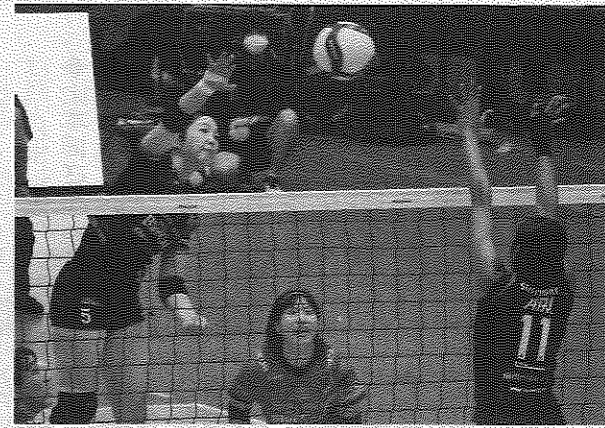


(第3種郵便物認可)

開幕戦 姫路に逆転勝利



スパイクを決める大村季色選手(左奥)
(12日、かほく市で) 一宮崎乃亜撮影

PFU

バレーボール・SVリー
グ女子のPFUブルーキ

細沼主将「覚悟伝わった」

ヤッツは12日、かほく市の「とり野菜みそ B L U E C A T S A R E N A」で開幕戦に臨み、ウィクトリーナ姫路に3-2

で勝利した。この日は148人の観客が応援に駆けつけ、開幕戦勝利を喜んだ。

PFUは第1セット、先制点を決めるも、主導権を奪われた。続く第2セットは接戦の末落としたが、第3セットから持ち直し、逆転勝利した。

試合後、馬場大拓監督は「災害が続く県内の状況に触れ、試合結果を見て活気にしてもうれしかった」と述べた。細沼主将は「前半はコミュニケーションミスなどで落ちたが、後半は声を出して勝ち切れた。開幕戦勝利でPFUの覚悟が伝わったと思う」と笑顔だった。13日も、同所でウィクトリーナ姫路と対戦する。

全国高校サッカー 県大会

計画停電1試合中断

第103回全国高校サッカー選手権県大会は12日、金沢大学SOFTTILLO FIELD Aで行われた

3回戦の金沢龍谷ー金沢市工が計画停電のため中断となった。試合は13日の午後2時から行われる。

3回戦
石川 川5-0山
少年女子試合2回戦
石川 川5-0群
少年女子試合3回戦
石川 川5-0群
少年女子試合1回戦
石川 川3-0新
少年女子試合2回戦
石川 川2-1島
少年女子試合準決勝
石川 川3-0山
少年女子準決勝
石川 川21(110)18(熊本B)

国スポ

陸上100清水V

少年男子B
陸上2024
佐賀2024
12日

少年男子B
陸上100清水V
少年男子B
少年男子B1000決勝 ①清水
空跳(星陵高)10秒56
少年女子共通走の臨場決勝 ⑤
藤本(津幡中)6分01秒追い風参考
少年女子5000決勝
五島(寶生堂)11分47秒
なぎなた
少年女子演技1回戦

少年男子B
少年男子B1000決勝 ①清水
空跳(星陵高)10秒56
少年女子共通走の臨場決勝 ⑤
藤本(津幡中)6分01秒追い風参考
少年女子5000決勝
五島(寶生堂)11分47秒
なぎなた
少年女子演技1回戦

少年男子2回戦
石川 川2-1島
少年女子試合準決勝
石川 川3-0山
少年女子準決勝
石川 川21(110)18(熊本B)

運転手確保へ独自計画

北陸のタクシー最大手、石川交通(金沢市)が、趣向を凝らした就職説明会を開くなど、運転手確保に本腰を入れている。銘打つのは、若年層や女性もターゲットにした「100人採用計画」。人手不足は深刻で、東寿弘社長(58)は「需要に本気で応える姿勢を示していかなければならない」と危機感をにじませる。(古渡彩乃)

あまり知らない金沢の歴史や魅力を紹介した。既に3回開催したが、1人が入社し、数を増やしている。

「今年7月からホテルで『お仕事説明会』を始めた。タクシー運転手は、定年退職後の高齢男性の仕事というイメージが強い。ホテルで企画担当を長く務めていたこともあり、応募者の関心を高めたいと企画した。観光案内にだけた運転手が講師になり、参加者には、ホテルのスイーツを味わいながら、くつろいで話を聞いてもらう。地元の人



7月に金沢市内のホテルで開催した「お仕事説明会」には、女性や若年層の姿も多く見られた(石川交通提供)



「若い人に運転手の仕事の魅力を伝えたい」と語る東社長(9月7日、金沢市で)

石川交通 1945年設立。名古屋鉄道グループで、2023年度の売上高は約12億円。従業員は240人(9月1日現在)。東社長は名古屋市出身で、1990年に名鉄に入社。サイパンランドホテル名鉄経営企画部などに勤務。岐阜グラントホテル取締役、名鉄東部交通取締役などを経て、2023年6月から現職。

石川交通(金沢市) 東寿弘 社長 58

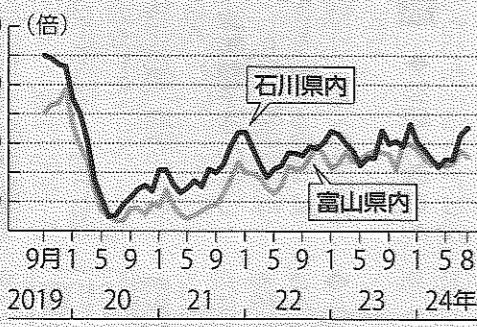


人が検討中だ。参加者の半数が女性だった回もあり、成果を上げている。

「深刻な人手不足だ。コロナ禍には外出自粛などの影響で移籍にくい状況が続く。乗務員が100人以上辞めていった。コロナ禍が明けて配車依頼が入るようになったが、乗務員が足りなくなって断らざるを得ない状況が続いている。このままだと依頼そのものが減ってしまう」

「創立80周年を迎える来年

※石川、富山両労働局の発表に基づく。23年3月以前は「自動車運転の職業」。雇用期間が決められている人などは除く



自動車運転従事者の有効求人倍率の推移

11月までに100人を採用する計画を打ち出している。現在乗務員は約200人だが、ほとんどが60歳以上の男性で女性性は3人のみ。今後も見据えると、若年層や女性など幅広い層に仕事の魅力を訴える必要がある。人材確保への本気度を示し、お客様に選んでもらえるタクシー会社になりたいという思いもある

「求人広告も増えている。これまで100万、200万円ほどだった費用を今年度は10倍にして、求人誌やテレビ、SNSなどに求人広告を出している。福利厚生も重要だ。能登半島地震で金沢近郊に避難している被災者向けに1年間家賃を補助する制度を作った。子育て世代向けには、提携先の保育園に子どもを預ける場合に保育料の半額補助を行っている」

「効果は出ているか」
「補助制度の活用実績はまだまだだが、9月までに20人以上が入社した。採用数は22年度の5人、23年度の10人と比べても順調に増えている」
「タクシー業界は運転手の勘と経験に頼りすぎて、マーケティングをおろそかにしていた側面がある。乗客や乗車地点などの情報をデジタル化して共有し、運転手がより効率的に成果を上げられる仕組み作りが必要だ。データを有効活用できるシステムの導入を準備している」

コロナ禍後需要満たせず

石川、富山両労働局によると、タクシー運転手を含む自動車運転従事者の有効求人倍率は、8月時点で石川県が3.27倍、富山県が2.77倍と、いずれも全職業(約1.3倍)を大きく上回る。2019年12月は石川県で4.31倍、富山県で3.93倍だったが、コロナ禍の影響で需要が急減するなどし、20年夏にはいずれも2倍を切った。離職者が増えて従事者は減り、コロナ禍が明けた後のインバウンド(訪日外国人客)の回復などによる需要の伸びに、追いつかない状況が続いている。こうした運転手不足は全国的な課題となっており、国はこれを補うため、個人が自家用車などを使って有償で人を運ぶ「日本版ライドシェア」制度を4月から始めた。金沢市周辺と富山市でも6月から導入され、石川交通を含むタクシー会社9社が参加している。